

裾野市議会議員

発行日 2024年1月8日

浅田もとゆき

議員活動報告

No.029

発行責任者:浅田基行 連絡先:トヨタ自動車東日本労組 総合センター支部内

1.令和5年度(2023年度)12月定例会

会期:11月28日(火)~12月13日(水) 16日間

上程された議案: 諮問2件、条例9件、補正8件、その他1件 計20件

一般会計補正予算(第8回) 主な事業

4億700万円を追加し、予算総額を214億5,700万円とするもので、主な内容は、人事院勧告による人件費、児童福祉施設等補助給付費の増額、自立支援給付費の増額、教育指導費の増額、幼児教育施設等補助給付費の増額など

一般会計補正予算(第9回) 主な事業

2億6,100万円を追加し、予算総額を217億1,800万円とするもので、主な内容は、物価高騰対応重点支援のための低所得世帯支援給付事業費の増額。

◎都市公園条例の一部改正が審議不十分で**継続審査**に

現行の裾野市都市公園条例では、「行為の制限(第7条)」で許可の規定をしているが、「出店その他これに類する行為」などの許可は、市主催又は共催など公益性の高いイベントのみでの運用となっている。そこで、使用料の規定を行い、①キッチンカーなど商行為に類する一般的な出店などに対して許可を行うことや、②官民連携など民間事業者が、都市公園内に工作物や施設を設置する場合を考慮し、使用料の規定を行う条例改正が提案されたが、使用料を規定する根拠となったエビデンスや、想定するモデルケースなどの設定に対し、委員会での審議が不十分となり、継続審査となった

2.一般質問

質問)学校再編で今年度に取り組んだ内容は。

答弁)令和7年度の東小学校と向田小学校の統合に向け、7月と11月に東地区学校再編協議会を実施し、地域の意見を確認した。さらに両校合同で令和7年度教育課程編成会議準備委員会を立ち上げ、統合後の教育課程の編成に向けた検討も始めている。令和9年度に計画している富岡第一小と富岡第二小の統合では、事業者とスクールバス運行の協議を進めている。

質問)東西公民館の現在の検討状況は。

答弁)公民館は継続していく。東西公民館事業、図書館事業、教育支援センター事業、学びの森事業が効果的に共存できるよう現在検討している。



浅田基行議員

トピックス

3. 広報すそのオンライン(裾野市公式note)を開設

市長戦略等の主要施策の進捗状況を定期的に発信し、市政への信頼感を醸成するため、メディアプラットフォーム「note」を活用し、「**広報すそのオンライン**」を開設した。自治体での活用は静岡県で浜松市、愛知県で名古屋市などが活用している。noteでは、担当職員や関わる人の思いを大切にされた発信に重きをおき、思いを込めた親しみやすい情報発信をすることで、「**市民目線で分かりやすい情報を伝え、裾野に愛着と誇りを持つひとを増やす**」ことを目指している。



4. 地域おこし協力隊員に元陸上長選手・萩原歩美さんを任命

地域おこし協力隊員に静岡市出身で元陸上女子長距離選手の萩原歩美さん(31)が任命された。萩原さんは静岡南中から常葉菊川高に進み、卒業後は実業団で活躍。2014年のアジア大会では1万メートルで銅メダルを獲得している。1月4日に委嘱式を開き、萩原さんはスポーツツーリズム事業を担当する。裾野市が地域おこし協力隊を裾野市が受け入れるのは初めて。

富士山麓に位置する裾野市は標高1千メートル超の「**準高地トレーニング**」の適地で、首都圏からも近く、**スポーツ合宿やイベントの誘致を強化**している。陸上競技は誘致の中心で、萩原さんには経験と人脈を生かした推進役として期待されている。



元陸上長選手・萩原歩美さん

5. 議会のあり方検討委員会

委員会は、2023年6月12日に第1回目の会議を開催し、調査・研究の活動を開始いたしました。本委員会の主な目的は、以下の3点を調査研究することです。

- 「**①政策形成の整備**」 「**②定数・報酬のあり方の検討**」
- 「**③その他議会改革に伴う課題の改善**」

「**①政策形成の整備**」に関しては、12月末までに第10回の会議を行い、市民がどのような議会や議員を望んでいるのか、**市民の期待に応えるための方策や議会基本条例に基づく最適な姿勢や取り組み**について重点的に議論しています。このテーマをしっかりと整備していくことで、「**②定数・報酬のあり方の検討**」への取り組みもスムーズに進展すると考えています。さまざまな視点からの調査研究を行い、**本委員会として有意義な結果**を出していくことを目指しています。「**③その他議会改革に伴う課題の改善**」は、**現在の調査研究の過程で浮上する問題点を随時取り上げ、適切に対応していき**たいと考えています。2024年度中にまとめ、**第三者委員会を通じて結果**を導いていきたいと思ひます。



下段:中央 委員長の私



会議中